



組合員学習交流集會に150人がつどう

脱原発・再生可能エネルギー中心の社会へ
日本環境学会会長 和田 武 氏が講演

10/29(土)和歌山市北コミュニティセンター多目的ホールで、組合員学習交流集會を開催しました。第1部は、「脱原発・再生エネルギー中心の社会へ福島原発事故を踏まえて日本の未来を考える」をテーマに日本環境学会会長、和田武先生が講演しました。和田先生は、日本の原子力重視のエネルギー政策の危険性を述べ、再生可能エネルギーと原子力の特性比較を具体的に示しながら、原発に頼らなくても、



日本には豊富な再生可能エネルギー資源があり、再生可能中心の社会への転換を求めました。世界では、原子力ではなく、再生可能エネルギーが急増していることをドイツやデンマークの例を紹介し、日本でも市民による再生可能エネルギー普及の取り組みがはじまっている例をわかりやすく紹介しました。地球温暖化防止と持続可能な社会



へ、未来世代のために脱原発・再生エネルギー普及推進が必要とのべました。

参加者からは、「聞けば聞くほど再生可能エネルギーの必要性を感じます。一方でこんないいエネルギーがあるのに、どうしてそれを推し進めないのか、どうして原発に頼るのかと不思議になります。早く脱原発をめざしてほしい。」「今、脱原発について何か不安な思いをしている人もありますが、世界の各国で取り組まれている現状を聞いて大きく自信

をもちました。」「市民主導の再生エネルギーを普及することによって、環境の保全だけでなく雇用創出、増加、農山村の発展があるという報告はすばらしい事だと思いました。」などの意見が寄せられました。

実感しあえる活動と結びつきを強め、医療生協強化月間後半の取り組みをすすめてみましょう

一月間前半の多彩な活動取り組みを交流

学習交流会では、第2部として各地区、事業所から月間前半の取組状況が報告されました。



東地区河北支部の阪口さんは、仲間ふやし年間目標を達成の報告。その教訓は、健康づくり班会(サークル)に気軽に参加してもらうこと、運営委員が知人に加入をすすめたこと、力もち組合員のふんばりで達成。



南地区南支部の寺下さんは、高齢者組合員の訪問活動について報告。亡くなっている方もあり、ご家族に引き継いでいただくお願いなど、時間はかかるがコツコツすすめています。



河西地区西支部の渡辺さんは、支部が取り組んでいる青空健康チェックで、医療生協のことを知りたい、健康チェックを続けてほしいなどの声もあり、つながりができつつある。



那賀地区打田支部の川辺さんは、サークルの活動を活かして仲間ふやしの取り組みをすすめていることや、あらゆるつながりを大事にしています。



海南・海草支部の稲田さんは、地区の夏まつりや班長交流会など活動紹介。仲間ふやしでは、医療生協が役に立つ、ぜひ加入してほしいとよびかけ10名の組合員をふやしている85歳の組合員さんの活動を紹介しました。

事業所からは、生協病院・藤沢事務長が、組合員の利用結集や地域に職員が出る、9・25の日の活動紹介。職員自身がつながりを活かし仲間ふやしをすすめている内容が報告され成果が上がっています。

2011年生協強化月間仲間ふやし状況(月間目標は年間目標の8割到達)																
	東地区		中地区		南地区		河西地区		那賀地区		海南海草地区		その他		計	
	目標	到達 残	目標	到達 残	目標	到達 残	目標	到達 残	目標	到達 残	目標	到達 残	目標	到達 残	目標	到達 残
4/1~7/31	85	515	2	62	23	97	18	62	6	114	12	52	4	148	150	1050
8/1~8/31	33	482	2	60	4	93	2	60	1	113	0	52	1	147	43	1007
9/1~9/30	41	441	2	58	7	86	7	53	11	102	1	51	2	145	71	936
10/1~10/31	129	312	8	50	13	73	23	30	10	92	39	12	5	140	227	709
計	288		14		47		50		28		52		12		491	
8/1~10/31	203		12		24		32		22		40		8		341	